

基準6 教育の成果

(1) 観点ごとの分析

観点6-1-①： 高等専門学校として、その目的に沿った形で、課程に応じて、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力、養成する人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われているか。

（観点到係る状況）

本校では、教育理念、養成すべき人材像、学習・教育目標を資料1-1-①-2（5～6ページに前出）のように定めており、これらの目的に沿った形で、準学士課程及び専攻科課程において、それぞれ適切な教育課程を構築している。学生が卒業・修了時に身に付ける具体的な達成目標は、資料1-1-①-2（5～6ページに前出）のように定めており、以下のように学生の目標の達成状況を把握し、その評価に基づいて卒業・修了の認定を行っている。

準学士課程では、全教員による進級認定会議及び卒業認定会議を年度末に開催し、進級や卒業認定について審議を行っている。卒業認定会議では、学生が卒業時に身に付ける資質・能力や養成している人物像に対する達成状況を踏まえて、学業成績や欠課時数一覧表などの資料から卒業要件（資料5-1-①-3、67ページに前出）について審議し、全教員の総意に基づき、校長が卒業認定を行っている。

専攻科課程では、全教員による修了認定会議を年度末に開催し、修了認定について審議を行っている。修了認定会議では、学生が修了時に身に付ける資質・能力や養成している人物像に対する達成状況を踏まえて、学業成績や欠課時数一覧表などの資料から修了要件（資料5-5-③-1、114～115ページに前出）について審議し、全教員の総意に基づき、校長が修了認定を行っている。

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程、専攻科課程ともに、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力、資質・能力及び養成する人材像等について明示している。その達成状況は、卒業認定会議、修了認定会議などにおいて把握・評価しており、適切な取組を行っている。

観点6-1-②： 各学年や卒業（修了）時などにおいて学生が身に付ける学力や資質・能力について、単位修得状況、進級の状況、卒業（修了）時の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業研究、卒業制作などの内容・水準から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点到係る状況）

本校は創立以来、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的とした5年制の高等教育機関として、教育効果の高い教育を行い、教養と専門の知識・技術を身に付けたエンジニアを養成している。

最近3年間の単位取得率及び留年者数、休学・退学者数を資料6-1-②-1～2に示す。少人数の留年者、休学・退学者は毎年認められるが、単位取得率は向上傾向にある。進級率、卒業・修了率、資格取得に伴う単位認定者率について、資料6-1-②-3～5に示す。毎年、学生の学力・資質・能力などを考慮した指導を行っており、ほぼ一定の学力水準を保っている。

卒業研究や特別研究のテーマは、学術研究から授業方法の改善に関する研究まで幅広い分野にわたっているとともに、環境・福祉問題を背景とした地域や社会貢献を目指したものが多い。例として、平成18年度の特設研究論文題目一覧表を資料6-1-②-6に示す。これらの成果は公開発表会を開催して、その内容や水準を問うている。また、学会等にも積極的に参加し、学生の資質向上を図っている（資料6-1-②-7）。さらに、本校学生は、準学士課程・専攻科課程を問わず各種コンペティション等にも参加し、優秀な成績を収めている（資料6-1-②-8）。

資料6-1-②-1 単位取得率

年度	学科	1年		2年		3年		4年		5年		合計	
		一般科目	専門科目										
H16年度	M	98.29	95.73	96.88	97.44	92.42	90.00	97.20	91.50	100	97.25	96.96	94.38
	E		97.62		95.73		90.48		94.60		99.28		95.54
	D		100		96.67		91.87		87.84		99.79		95.23
	C		100		95.00		96.05		97.30		99.68		97.61
	A		97.50		99.53		92.19		97.24		99.57		97.21
	Ave.		98.19		96.88		92.17		94.28		99.26		96.16
H17年度	M	97.96	99.40	97.68	100	97.84	98.23	98.70	94.90	99.34	99.00	98.30	98.31
	E		95.51		100		92.99		95.56		96.01		96.01
	D		100		97.22		91.16		93.49		98.50		96.07
	C		100		95.24		97.11		97.77		99.27		97.88
	A		99.40		100		94.57		93.98		98.22		97.23
	Ave.		98.71		98.36		95.32		95.73		98.39		97.30
H18年度	M	96.02	96.43	96.14	98.78	98.69	99.28	97.27	96.84	98.01	98.71	97.23	98.01
	E		95.45		100		99.48		98.39		98.71		98.41
	D		95.24		98.78		98.07		99.62		97.89		97.92
	C		100		94.50		99.23		95.18		98.74		97.53
	A		100		100		98.54		96.33		99.78		98.93
	Ave.		97.19		98.03		98.88		97.27		98.64		98.00

注)休学・退学による単位未修得者を除く

(出典 成績評価資料より算出)

資料6-1-②-2 留年者数、休学・退学者数

年度	学科	1年		2年		3年		4年		5年		合計	
		留年者	退学・休学者										
H16年度	M	2		1		7	1	2				12	1
	E			1		4		2				7	0
	D		1	2		4		4	2			10	3
	C			4		1			1			5	1
	A	2			1	5			1			7	2
	Total	4	1	8	1	21	1	8	4	0	0	41	7
H17年度	M	1	2	1	2			1				3	4
	E	1	2			3		1	1			5	3
	D	1				3		2	1			6	1
	C	1		3		1		2	1			7	1
	A				1	3		1				4	1
	Total	4	4	4	3	10	0	7	3	0	0	25	10
H18年度	M	3	3	1	1			1	1			5	5
	E	2	2	2				1	1	1	1	6	4
	D	3	2			1	1		1			4	4
	C	4	1	5		2		4				15	1
	A	1				1		1	2			3	2
	Total	13	8	8	1	4	1	7	5	1	1	33	16

年度	専攻	1年		2年		合計	
		留年者	退学・休学者	留年者	退学・休学者	留年者	退学・休学者
H16年度	生産						
	物質						
	建築						
Total	0	0			0	0	
H17年度	生産			1		1	1
	物質						
	建築		1			0	1
Total	0	1	1	1	1	2	
H18年度	生産						
	物質		1			0	1
	建築				1	0	1
Total	0	1	2	1	2	2	

(出典 進級認定会議資料より算出)

資料6-1-②-3 進級率

年度	学科	1年			2年			3年			4年			5年			合計		
		在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率												
H14年度	M	44	42	95.45	39	36	92.31	44	40	90.91	46	46	100.00	27	27	100.00	200	191	95.50
	E	42	40	95.24	42	42	100.00	42	34	80.95	40	39	97.50	37	37	100.00	203	192	94.58
	D	41	39	95.12	46	43	93.48	38	35	92.11	42	42	100.00	37	37	100.00	204	196	96.08
	C	44	37	84.09	43	41	95.35	36	33	91.67	31	30	96.77	34	34	100.00	188	175	93.09
	A	40	37	92.50	39	39	100.00	43	41	95.35	45	44	97.78	39	39	100.00	206	200	97.09
	Total	211	195	92.42	209	201	96.17	203	183	90.15	204	201	98.53	174	174	100.00	1001	954	95.30
H15年度	M	43	39	90.70	45	41	91.11	38	36	94.74	39	34	87.18	46	46	100.00	211	196	92.89
	E	44	40	90.91	40	39	97.50	46	39	84.78	35	31	88.57	38	38	100.00	203	187	92.12
	D	50	45	90.00	40	40	100.00	44	43	97.73	36	32	88.89	42	42	100.00	212	202	95.28
	C	48	48	100.00	39	38	97.44	42	37	88.10	35	33	94.29	30	30	100.00	194	186	95.88
	A	46	44	95.65	37	37	100.00	40	39	97.50	42	41	97.62	44	44	100.00	209	205	98.09
	Total	231	216	93.51	201	195	97.01	210	194	92.38	187	171	91.44	200	200	100.00	1029	976	94.85
H16年度	M	41	39	95.12	39	38	97.44	41	33	80.49	42	40	95.24	34	34	100.00	197	184	93.40
	E	42	42	100.00	41	40	97.56	42	38	90.48	41	39	95.12	31	31	100.00	197	190	96.45
	D	45	44	97.78	45	43	95.56	41	37	90.24	45	39	86.67	32	32	100.00	208	195	93.75
	C	40	40	100.00	48	44	91.67	38	37	97.37	40	39	97.50	33	33	100.00	199	193	96.98
	A	40	38	95.00	44	43	97.73	37	32	86.49	40	39	97.50	41	41	100.00	202	193	95.54
	Total	208	203	97.60	217	208	95.85	199	177	88.94	208	196	94.23	171	171	100.00	1003	955	95.21
H17年度	M	44	41	93.18	40	37	92.50	41	41	100.00	35	34	97.14	40	40	100.00	200	193	96.50
	E	41	38	92.68	42	42	100.00	41	38	92.68	38	36	94.74	39	39	100.00	201	193	96.02
	D	42	41	97.62	45	45	100.00	44	41	93.18	40	37	92.50	39	39	100.00	210	203	96.67
	C	40	39	97.50	42	39	92.86	45	44	97.78	40	37	92.50	39	39	100.00	206	198	96.12
	A	42	42	100.00	38	37	97.37	45	42	93.33	36	35	97.22	39	39	100.00	200	195	97.50
	Total	209	201	96.17	207	200	96.62	216	206	95.37	189	179	94.71	196	196	100.00	1017	982	96.56
H18年度	M	45	39	86.67	42	40	95.24	38	38	100.00	44	42	95.45	34	34	100.00	203	193	95.07
	E	46	42	91.30	38	36	94.74	43	43	100.00	41	39	95.12	36	34	94.44	204	194	95.10
	D	44	39	88.64	41	41	100.00	47	45	95.74	42	41	97.62	37	37	100.00	211	203	96.21
	C	49	44	89.80	40	35	87.50	39	37	94.87	45	41	91.11	37	37	100.00	210	194	92.38
	A	45	44	97.78	42	42	100.00	38	37	97.37	45	42	93.33	35	35	100.00	205	200	97.56
	Total	229	208	90.83	203	194	95.57	205	200	97.56	217	205	94.47	179	177	98.88	1033	984	95.26

年度	専攻	1年			2年			合計		
		在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率	在籍数	進級数	進級率
H16年度	生産	14	14	100.00				14	14	100.00
	物質	3	3	100.00				3	3	100.00
	建築	5	5	100.00				5	5	100.00
	Total	22	22	100.00				22	22	100.00
H17年度	生産	12	12	100.00	14	12	85.71	26	24	92.31
	物質	7	7	100.00	3	3	100.00	10	10	100.00
	建築	7	6	85.71	5	5	100.00	12	11	91.67
	Total	26	25	96.15	22	20	90.91	48	45	93.75
H18年度	生産	13	13	100.00	14	12	85.71	27	25	92.59
	物質	3	2	66.67	7	7	100.00	10	9	90.00
	建築	2	2	100.00	6	5	83.33	8	7	87.50
	Total	18	17	94.44	27	24	88.89	45	41	91.11

注) 進級後、進路変更した学生も進級者数に含む。

(出典 進級認定会議資料より算出)

資料6-1-②-4 卒業・修了率

本科							専攻科				
H12年度入学生	40	42	41	39	41	203					
H14年度留学生	1	1			1	3					
H15年度編入学生		1	1	1	2	5					
H16年度卒業生	34	31	32	33	41	171					
H16年度卒業生 (留年生除く)	32	31	32	33	41	169					
卒業率	78.05	70.45	76.19	82.50	93.18	80.09		生産	物質	建築	合計
H13年度入学生	41	40	45	40	39	205	H16年度入学生	14	3	5	22
H15年度留学生	1		1		1	3					
H16年度編入学生	2			2	1	5	H17年度修了生	12	3	5	20
H17年度卒業生	40	39	39	39	39	196					
H17年度卒業生 (留年生除く)	37	34	37	34	39	181					
卒業率	84.09	85.00	80.43	80.95	95.12	84.98	修了率	85.71	100.00	100.00	90.91
H14年度入学生	42	41	40	43	39	205					
H16年度留学生			1			1	H17年度入学生	12	7	7	26
H17年度編入学生	2	1	1	3	4	11					
H18年度卒業生	34	34	37	37	35	177	H18年度修了生	12	7	5	24
H18年度卒業生 (留年生除く)	32	33	36	35	35	171	H18年度修了生 (留年生除く)	11	7	5	23
卒業率	72.73	78.57	85.71	76.09	81.40	78.80	修了率	91.67	100.00	71.43	88.46

(出典 進級認定会議資料より算出)

資料 6-1-②-5 資格取得に伴う単位認定者率

試験の種類	級・得点	単位数	H16年度	H17年度	H18年度	合計
実用英語技能検定	2級	3		3		3
	準2級	2	15	6	3	24
工業英語能力検定	3級	2	4		1	5
	4級	1	38	92	57	187
TOEIC	400～499点	2	9	2	3	14
	500～599点	3			1	1

(出典 教員会議資料より算出)

資料 6-1-②-6 特別研究論文題目一覧表

平成 18 年度特別研究論文題目一覧

専攻名	特別研究論文題目
生産システム工学 専攻	微細氷の連続生成を目的とした過冷却解放に関する研究
	超音波による焼結軸受の油膜厚さ測定
	2つのリンクをほぼ一直線状に拘束したPendubotの振り上げ安定化制御
	インペラ型磁気アクチュエータの基本特性及び応用開発
	自己組織化マップを用いた光化学オキシダント濃度予測に関する研究
	iアプリを用いた画像サーバシステムの構築
	生体の視覚系に学んだ速度検出アナログ回路の構築とその物体追跡システムへの応用
	車輪型移動ロボットの走行制御
	〇言語教育支援システムの開発 ～プログラム診断機能～
	偏光を用いた生体内の光多重散乱の解析とその鮮度
物質工学専攻	窒素化合物処理による可視光応答型光触媒の合成
	酢酸-無水酢酸混合液中におけるリン酸2水素塩の縮合反応
	プロモフェノールブルーとキトサン溶液を用いる界面活性剤の簡易定量法の開発
	中海に対するノンポイント汚濁の影響
	固体高分子電解質膜を用いたオゾン発生素子の開発
	糖鎖高分子の熱的性質の改善
建築学専攻	ウニ殻の水酸アパタイト化
	新潟県中越地震における住宅再建の公的支援についての評価に関する研究
	施設利用者の地域行動からみた文化施設の中心市街地活性化における役割
	実物大で体感できる建築デザインツールの可能性について -150mm角のキューブを使ったワークショップを通じて-
木質ブロックを用いた組積壁の構造実験について	
曲線材の解析に関する研究	

(出典 平成 18 年度特別研究論文集)

資料 6-1-②-7 専攻科生学会等発表実績

専攻科生学会等発表実績 (平成 18 年度)

発表学会名等	開催地	件数
日本機械学会中国四国支部 第45期総会・講演会	徳島市	1
日本機械学会中国四国学生会 第36回学生員卒業研究発表講演会	東広島市	1
第15回計測自動制御学会中国支部 学術講演会	岡山市	4
第43回日本伝熱シンポジウム	名古屋市	2
第8回IEEE広島支部学生シンポジウム	広島市	2
平成18年度電気・情報関連学会中国支部 第57回連合大会	岡山市	1
日本分析化学会 第55年会	豊中市	1
日本化学会 第86春季年会	吹田市	2
第12回高専シンポジウム	三島市	6
中国四国地区高専専攻科生研究交流会	阿南市	5
平成18年度日本建築学会中国支部研究報告会	鳥取市	5
産官学連携フェスティバル2006	鳥取市	2

(出典 平成 18 年度専攻科生学会等発表実績)

資料6-1-②-8 各種コンペティション等実績

各種コンペティション等実績(平成18年度)

コンペティション等の名称	結果
高等専門学校連合会「全国高専デザインコンペティション2006 in 都城」	優秀賞 他
平成18年度「鳥取県青少年建築アイデアコンテスト」	最優秀賞, 優秀賞, 特別賞, 奨励賞
高専ロボコン2006中国大会	特別賞(本田技研工業株)
第8回LSI IPデザイン・アワード	開発奨励賞
第8回IEEE広島支部学生シンポジウム	プレゼンテーション賞

(出典 平成18年度各種コンペティション等実績)

(分析結果とその根拠理由)

学生の学力・資質・能力などを考慮し、教育の成果や効率を上げるための指導を心掛けているため、一定の学力水準を保っている。卒業(修了)時の状況としては、卒業研究や特別研究の成果を校内外に公開することにより、その内容や水準を高めている。また、学生の資質向上を目指し、学会や各種コンペティションにも積極的に参加しており、優秀な成績を収めている。

観点6-1-③： 教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業(修了)後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

卒業(修了)生の進路状況については、求人数と合わせて資料6-1-③-1に示す。就職者数と進学者数の割合は、学科によって多少異なるが、概ね就職者数の方が多い。この就職状況について産業別に見ると、建築学科で建設業、その他の4学科で製造業に偏っている傾向が認められる(資料6-1-③-2)。本校において養成しようとする人材像は、基準1で述べた通り「ものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者の養成」としていることから、求人数及び就職実績はこの目標を達成していることを証明している。

大学等への編入学者数について、資料6-1-③-3に示す。本校に専攻科が設置された年度より急激に進学者数が増加しており、本校専攻科への進学割合が多いことが認められる。これは、本校準学士課程を卒業後も本校専攻科でさらに学びたいという学生の意欲を示しており、教育成果の向上による結果であるといえる。

資料6-1-③-1 平成18年度求人及び進路状況

	卒業生数 Number of Graduates	就職者数 Number of employed graduates	進学者数 Number of entrants into Univ.	その他 Others	求人数 Number of Job Offered	求人倍率 Rate of Post Offered
機械工学科 Mechanical Eng.	34	22	11	1	621	28.2
電気工学科 Electrical Eng.	34 (3)	21 (3)	13		591	28.1
電子制御工学科 Electronic Control Eng.	37 (8)①	25 (7)	12 (1)①		524	21.0
物質工学科 Materials Science	37(16)	15 (9)	20 (5)	2 (2)	263	16.4
建築学科 Architecture	35(12)	18 (6)	17 (6)		260	14.4
計 Total	177(39)①	101(25)	73(12)①	3 (2)	2,259	22.1

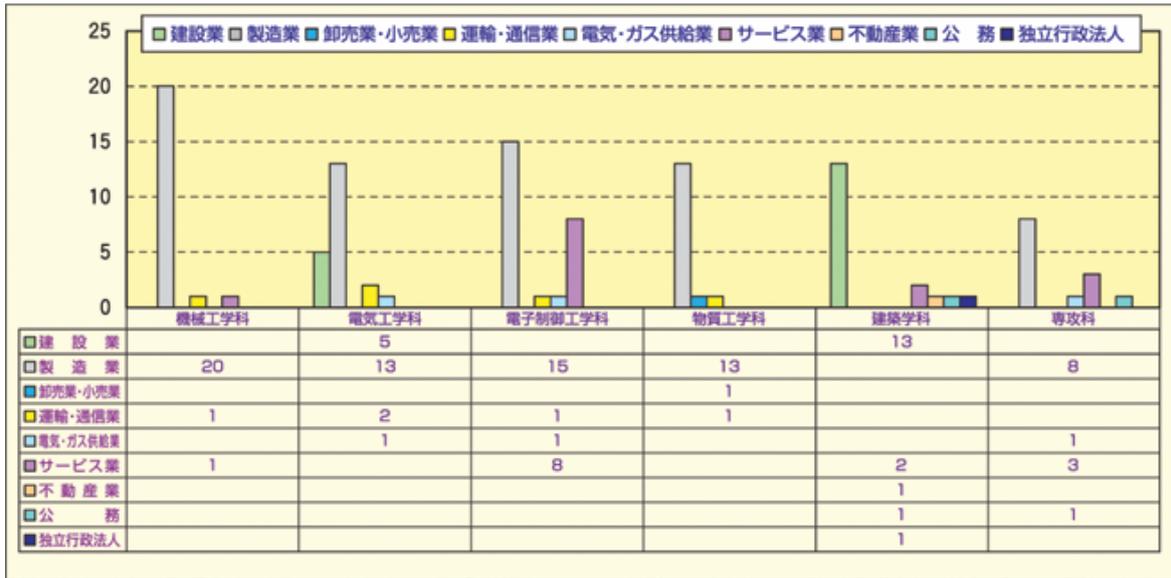
	修了者数 Number of Graduates from Advanced Course	就職者数 Number of employed graduates	進学者数 Number of entrants into Univ.	その他 Others	求人数 Number of Job Offered	求人倍率 Rate of Post Offered
専攻科 Advanced Engineering Course	24(5)	13 (4)	11 (1)		805	57.5

()は女子内数:Girl Students ①は外国人留学生内数:Foreign Students ※社会人の専攻科生を含む

(出典 平成19年度学校要覧 p.31)

資料 6-1-③-2 平成 18 年度就職状況

平成18年度業種別就職状況



平成18年度 就職先

	機械	電気	電子	物質	建築	専攻科
〈建設業〉		5			13	
(株)アキュラホーム					1	
(株)新井組					1	
(株)大本組					1	
(株)金田工務店					1	
(株)浦池組					1	
(株)センチュリーホーム					1	
曾我工業(株)					1	
(株)タウンハウス					1	
大塚建設(株)					1	
大和ハウス工業(株)					1	
高松建設(株)					1	
美保テクノス(株)					1	
(株)きんでん		1				
(株)中電工		2				
(株)中電プラント		1				
日本オーテス・エレベータ(株)				1		
三菱電機ビルテクノサービス(株)		1				
〈製造業〉	20	13	15	13		8
昭和産業(株)		1				
大山ハム(株)		1				
森永製菓(株)			1			
山崎製パン(株)			1			
理研ビタミン(株)	1					
東レ(株)	2					
王子製紙(株)春日井工場	1					
王子エンジニアリング(株)米子事業所	1					
大阪シーリング印刷(株)	1					
旭化成(株)	1		2			
花王(株)			2			
甲種ケミカル(株)			1			
新日本石油化学(株)			1			
日東電工(株)			1			
日本ゼオン(株)水島工場			1			
三菱化学エンジニアリング(株)			1			
ユニチカ(株)				2		
和光純薬工業(株)						1
JFEスチール(株)西日本製鉄所	1					
東邦チタニウム(株)	1					
鳥取ロプスターツール(株)	1					
日立メタルプレジジョン(株)			1			
(株)イトーキ	1					
(株)エクセディ	1					
(株)ゴール	1					
神鋼テクノ(株)			1			
ダイキン工業(株)				1		
ダイヤ精工(株)	1					
(株)中野金型			1			
ファミリー(株)		1				1
三浦工業(株)	1					
村田機械(株)			1			
wave technology(株)			1			
オムロン倉吉(株)	1	1				1

	機械	電気	電子	物質	建築	専攻科
倉吉尾池工業(株)						1
シャープ米子(株)	1	1				
(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス		1	1			
ソニー・イーエスシーエス(株)木更津テック			1			
鳥取三洋電機(株)		1				1
トミタ電機(株)		1				
日新電機(株)		1				
日本セラミック(株)		1	1			1
富士レビオ(株)						1
日本マイクロシステムズ(株)					1	
日本モレックス(株)					1	
富士フィルムメディカル西日本(株)		1				
三菱電機(株)福山製作所		1				
三菱電機エンジニアリング(株)			1			
(株)川崎造船	1					
ススキ(株)			1			
デンソーテクノ(株)						1
本田技研工業(株)		1	1			
三菱重工業(株)長崎造船所	1					
三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所			1			
(株)ニコン			1			
〈卸売業・小売業〉						1
(株)林薬品						1
〈運輸・通信業〉	1	2	1	1		
(株)JAL航空機整備成田	1					
JR西日本旅客鉄道(株)		1		1		
日本海テレビジョン放送(株)			1			
日本貨物鉄道(株)関西支社			1			
〈電気・ガス・水道・熱供給業〉		1	1			1
大阪ガス(株)						1
関西電力株式会社		1				
米子瓦斯(株)			1			
〈サービス業〉	1		8		2	3
(株)エス・イー・シー・ハイテック			1			
NECネットエスアイ・エンジニアリング(株)			2			1
(株)日立国際電気サービス			1			
三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)			1			
リコーテクノシステムズ(株)			1			
井戸垣産業(株)						1
(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス						1
住友金属テクノロジー(株)						1
戸田テクノロジーサービス(株)						1
安川エンジニアリング(株)			1			
(株)カンセツ	1					
山陰信販(株)			1			
鳥取県西部農業(協)						1
〈不動産業〉						1
住友不動産(株)						1
〈公務〉						1 1
京都市役所						
鳥取大学						1 1
〈独立行政法人〉						1
(独)国立印刷局						1

(出典 平成 19 年度学校要覧 p. 32)

資料 6 - 1 - ③ - 3 大学等への編入学者数

【大学編入学】

学校名		'03	'04	'05	'06	'07
国立 大学	室蘭工業大学 Muroran Institute of Technology		1		1	
	岩手大学 Iwate Univ.				1	
	秋田大学 Akita Univ.					1
	筑波大学 Tsukuba Univ.			1		1
	宇都宮大学 Utsunomiya Univ.				1	1
	千葉大学 Chiba Univ.			1		
	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	1	1			
	電気通信大学 The Univ. of Electro-Communications			1		1
	長岡技術科学大学 Nagaoka Univ. of Technology	2	3	1	2	2
	富山大学 Toyama Univ.		1		1	
	山梨大学 Yamanashi Univ.	1			1	
	信州大学 Shinshu Univ.					2
	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology		1	1		
	豊橋技術科学大学 Toyohashi Univ. of Technology	1	7	3	3	4
	三重大学 Mie Univ.	1	3			
	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	2		1	2	1
	神戸大学 Kobe Univ.		1	1		
	奈良女子大学 Nara Women's Univ.	1				
	和歌山大学 Wakayama Univ.	2	2		2	2
	鳥取大学 Tottori Univ.	4	1	2		1
	島根大学 Shimane Univ.	5	5	2	4	3
	岡山大学 Okayama Univ.	1	2	4	7	5
	広島大学 Hiroshima Univ.	3	5	5	4	5
	山口大学 Yamaguchi Univ.	3	5	1	1	
	徳島大学 Tokushima Univ.	1	2		3	1
	香川大学 Kagawa Univ.	2	1	1	1	1
	愛媛大学 Ehime Univ.		1			1
	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	1	1	4		1
	長崎大学 Nagasaki Univ.	1	1			
	熊本大学 Kumamoto Univ.	2	1	2		
大分大学 Oita Univ.		1				
鹿児島大学 Kagoshima Univ.	1					
琉球大学 Ryukyu Univ.		1		1		
公立 大学	前橋工科大学 Maebashi Institute of Technology					1
	滋賀県立大学 The Univ. of Shiga Prefecture	1	1	1		
	岡山県立大学 Okayama Prefectural Univ.					1
	山口県立大学 Yamaguchi Prefectural Univ.	1				
	熊本県立大学 Prefectural Univ. of Kumamoto					1
私立 大学	東京工芸大学 Tokyo Polytechnic Univ.				1	
	豊田工業大学 Toyota Technological Institute	2				
	日本福祉大学 Nihon Fukushi Univ.		1			
	京都外国語大学 Kyoto Univ. of Foreign Studies	1				
	京都精華大学 Kyoto Seika Univ.	1				1
	大阪芸術大学 Osaka Univ. of Arts			1		
	関西学院大学 Kansei Gakuin Univ.				1	
	鳥取環境大学 Tottori Univ. of Environmental Studies	1				
広島国際大学 Hiroshima International Univ.			1			
高専	舞鶴高専専攻科 Post-graduate Courses of Maizuru National College of Technology	1				
	明石高専専攻科 Post-graduate Courses of Akashi National College of Technology				1	
	米子高専専攻科 Post-graduate Courses of Yonago National College of Technology		14	23	13	35
計		43	63	57	53	70

【大学院入学】

学校名		'03	'04	'05	'06	'07
国立 大学	長岡技術科学大学 Nagaoka Univ. of Technology					2
	大阪大学 Osaka Univ.					2
	神戸大学 Kobe Univ.					1
	奈良先端科学技術大学院大学 Nara Institute of Science & Technology				1	
	和歌山大学 Wakayama Univ.					1
	鳥取大学 Tottori Univ.					1
	島根大学 Shimane Univ.				1	
九州工業大学 Kyushu Institute of Technology				2	2	
私立 大学	近畿大学 Kinki Univ.				1	
計					5	9

(出典 平成 19 年度学校要覧 p. 33)

(分析結果とその根拠理由)

多くの学生が「ものづくり」に関する産業に就職しており、これらの産業で活躍できる技術者の養成が、本校の養成しようとする人材像に合致していることから、教育成果や効果が上がっていると判断できる。また、本校専攻科への進学者が多いことは、学生の向上心が高まっている証拠であり、教育成果の向上による結果であるといえる。

観点 6-1-④： 学生が行う学習達成度評価等，学生からの意見聴取の結果から判断して，教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

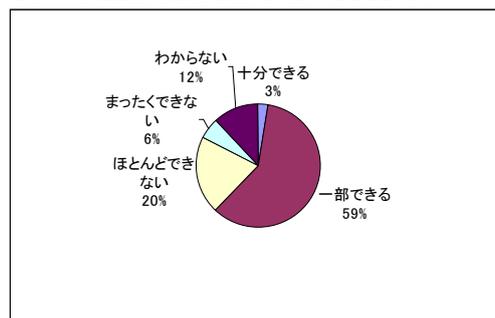
本校において、学生が行う学習達成度評価とは、準学士課程卒業予定者及び専攻科課程修了予定者に行ったアンケートが該当する。また、準学士課程卒業及び専攻科課程修了時での到達目標は資料 1-1-①-2 (5～6 ページに前出) に示すとおりである。

準学士課程卒業予定者のアンケート結果より、6つの達成目標の全てで、過半数の学生が“一部できる”と回答している(資料 6-1-④-1)。また、“十分できる”と回答した学生数と合わせると、全ての項目で約60%となり、学校が意図する教育の成果や効果が得られている。

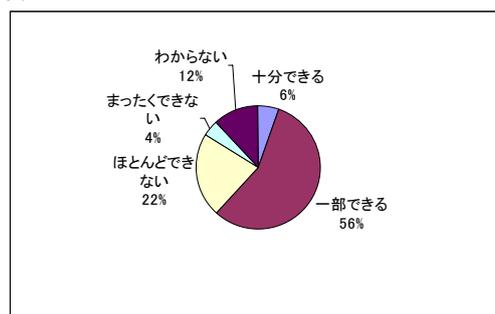
専攻科課程修了予定者のアンケート結果より、ほとんどの項目で“一部できる”あるいは“十分できる”と回答した学生が約70～80%であった(資料 6-1-④-2)。特に、地球環境への配慮、資料の読解力、プレゼンテーション能力に関する目標については、非常に達成度が高かった。これらのことから、学校が意図する教育の成果や効果は十分に得られている。

資料 6-1-④-1 本校の達成度に関するアンケート (本科卒業予定者)

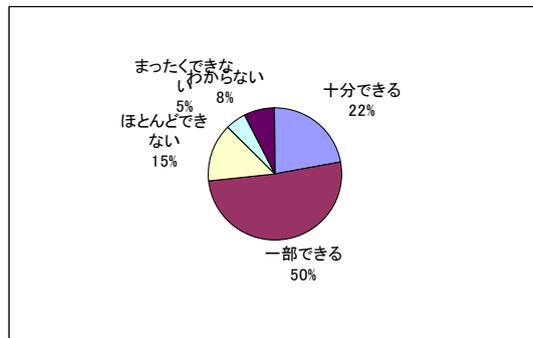
11. 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができると思いますか？



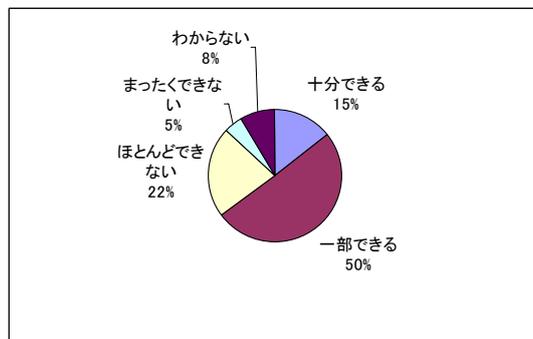
12. 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することが出来ると思いますか？



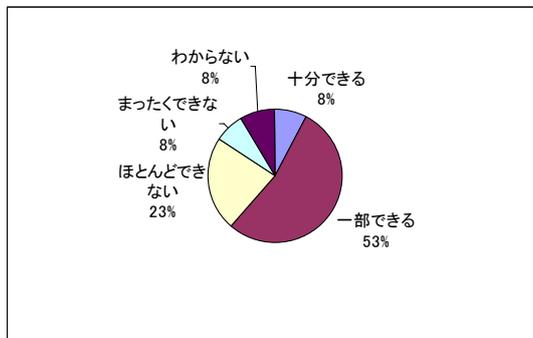
13. 関心のある分野について継続的に学習していくことが出来るようになりましたか？



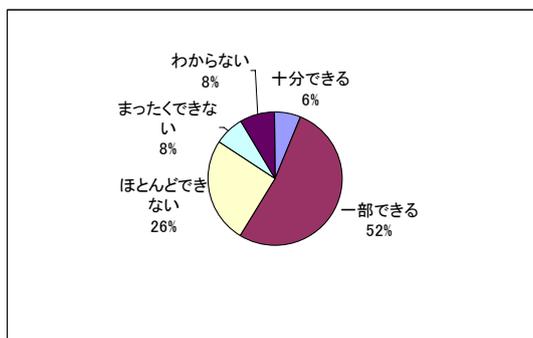
14. 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができるようになりましたか？



15. 日本語および英語の資料等を読み、適切に理解できるようになりましたか？



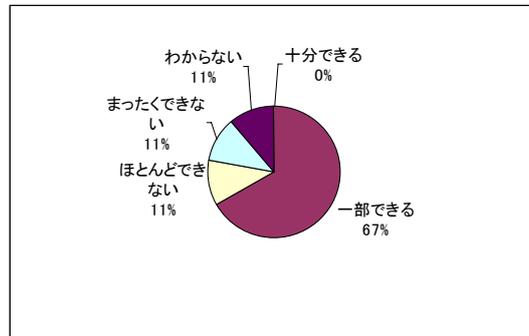
16. 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明できるようになりましたか？



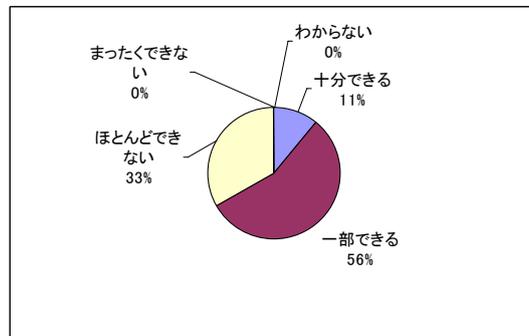
(出典 本校の達成度に関するアンケート結果より抜粋)

資料 6 - 1 - ④ - 2 本校の達成度に関するアンケート（専攻科修了予定者）

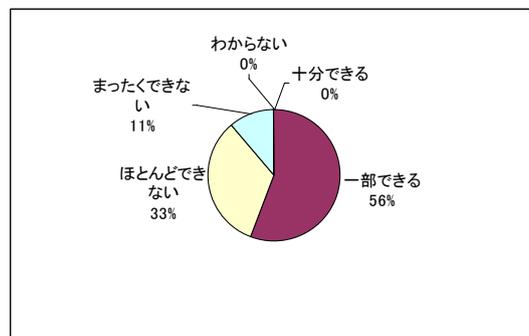
1 1. 工学に関する様々な問題等を自ら発見することができるようになったと思いますか？



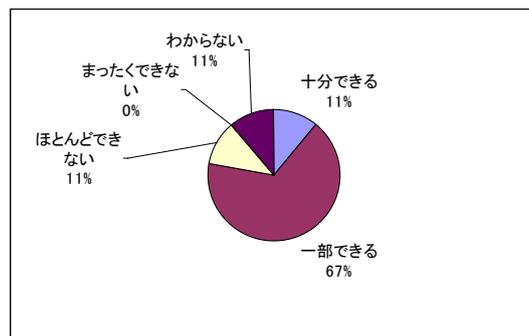
1 2. 発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画のもとに解決することができるようになったと思いますか？



1 3. 専門的な英語の文献等を読み、理解することができるようになりましたか？

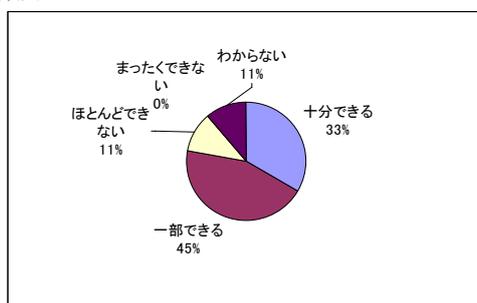


1 4. 自らの専門的知識・技術および関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができるようになったと思いますか？

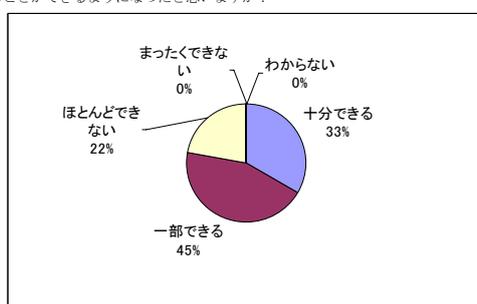


(資料 6-1-④-2 本校の達成度に関するアンケート (専攻科修了予定者))

15. 持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができるようになったと思いますか？



16. 問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができるようになったと思いますか？



(出典 本校の達成度に関するアンケート結果より抜粋)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程卒業予定者及び専攻科課程修了予定者に行った達成度アンケートの結果から、教育の効果が上がっていると判断できる。特に、専攻科課程修了時には、学校が意図する教育の成果や効果が十分に得られている。

観点 6-1-⑤： 卒業（修了）生や進路先などの関係者から、卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見を聴取するなどの取組を実施しているか。また、その結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況)

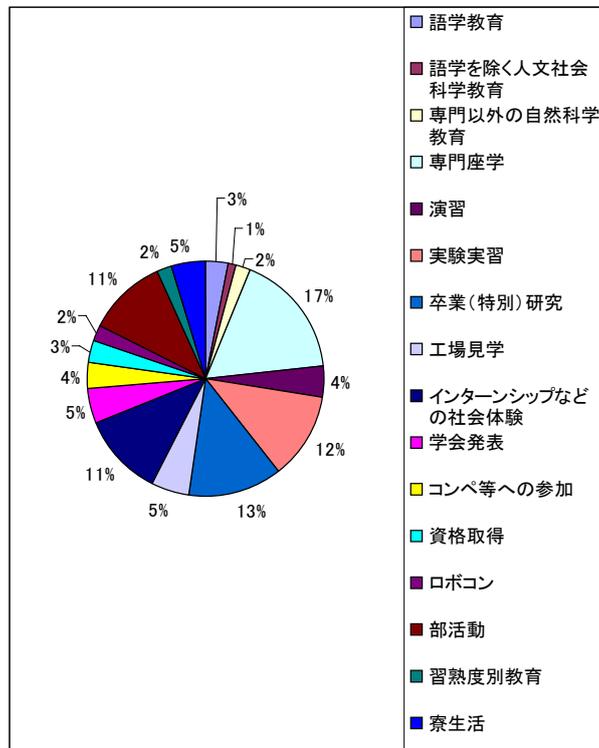
既卒業（修了）生及び採用実績のある企業に対し、在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見聴取としてアンケートを実施している。

既卒業（修了）生に対するアンケート結果を資料 6-1-⑤-1 に示す。卒業してから役に立ったものとして、専門座学、実験実習、演習、卒業（特別）研究、インターンシップ経験などが上位に挙がっている。これらは本校でも特に力を入れている科目等であり、教育の成果や効果が十分上がっている。

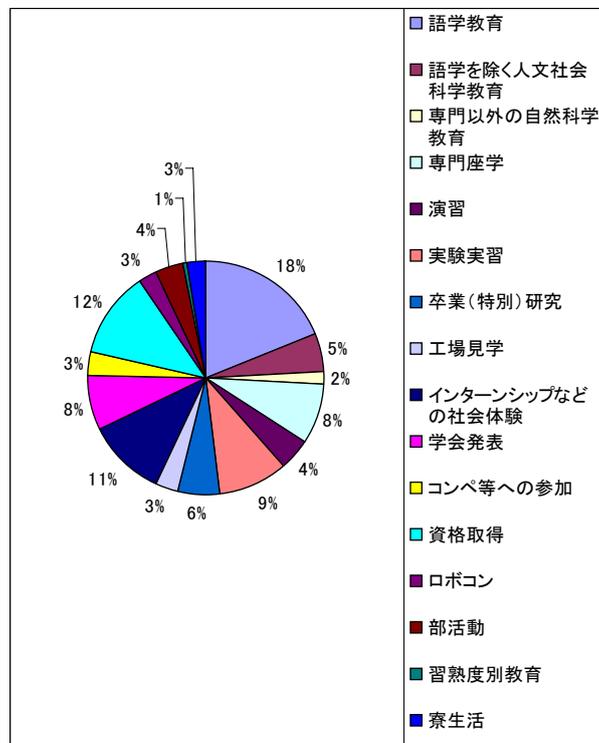
採用実績のある企業に対するアンケート結果を資料 6-1-⑤-2 に示す。“まったくできない”あるいは“ほとんどできない”という回答はほとんどなく、本校卒業（修了）生が社会で十分活躍していることを示している。

資料 6-1-⑤-1 既卒業（修了）生に対するアンケート結果

5. 卒業（修了）してから役に立ったとお考えの項目を次から選んでください（複数回答可）



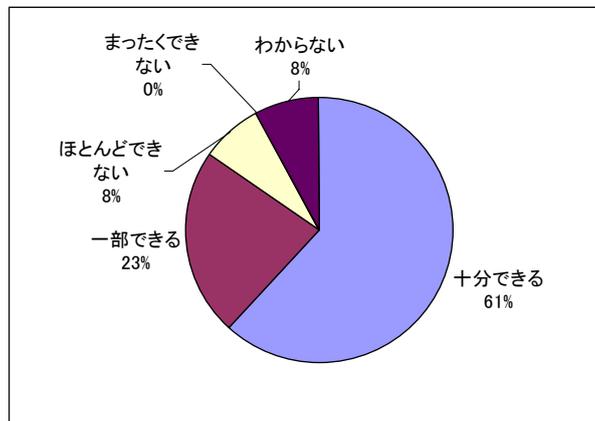
6. 本校がより充実すべきとお考えの項目を選んでください（複数回答可）



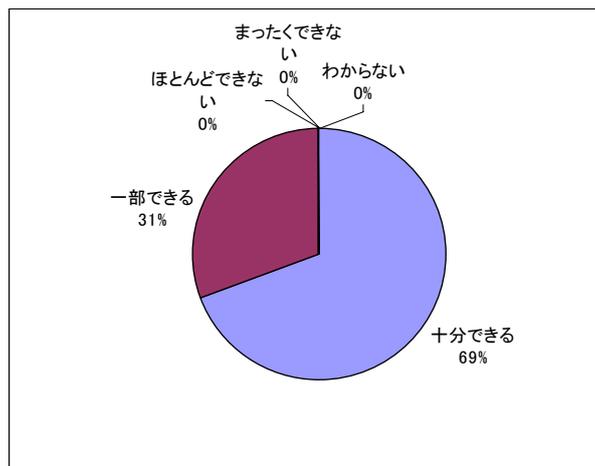
(出典 既卒業（修了）生に対するアンケート結果より抜粋)

資料 6 - 1 - ⑤ - 2 採用実績のある企業に対するアンケート結果

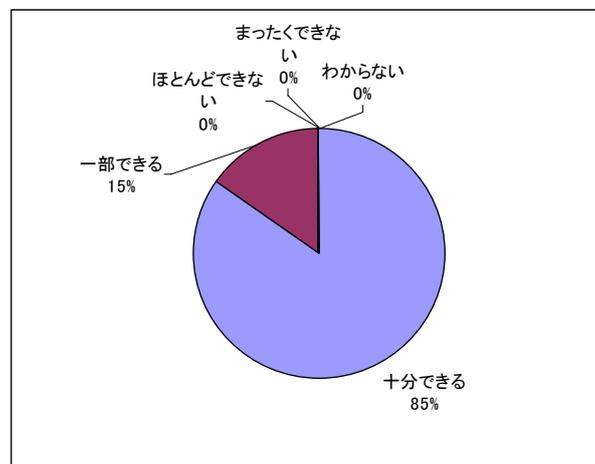
6. 本校の卒業生は、学び習得した知識を適切に表現し、活用する資質を備えているとお考えでしょうか？



7. 本校の卒業生は、実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる資質を備えているとお考えでしょうか？

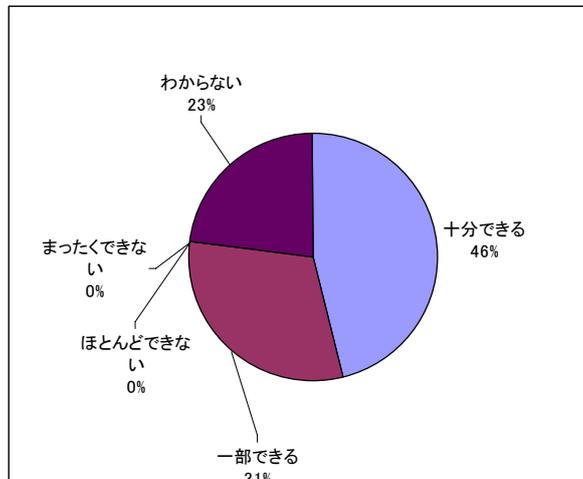


8. 本校の卒業生は、本人が関心のある分野について継続的に学習していくことができる資質を備えているとお考えでしょうか？

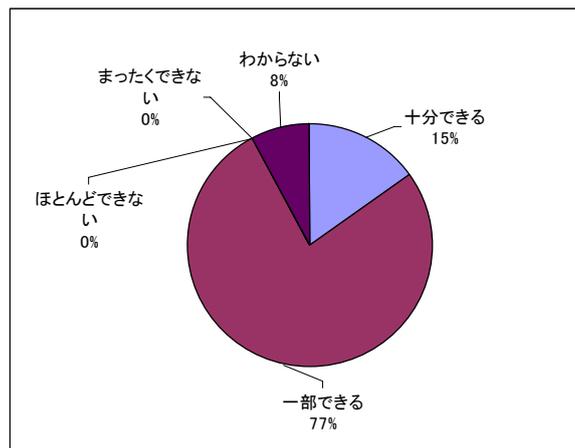


(資料 6-1-⑤-2 採用実績のある企業に対するアンケート結果)

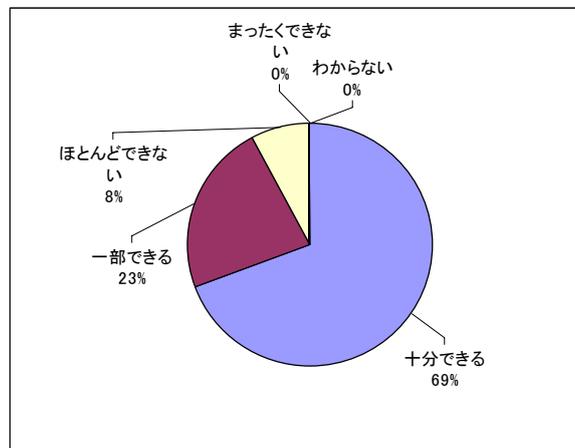
9. 本校の卒業生は、地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる資質を備えているとお考えでしょうか？



10. 本校の卒業生は、日本語および英語の資料等を読み、適切に理解することができる資質を備えているとお考えでしょうか？



11. 本校の卒業生は、自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる資質を備えているとお考えでしょうか？



(出典 採用実績のある企業に対するアンケート結果より抜粋)

(分析結果とその根拠理由)

既卒業（修了）生及び採用実績のある企業に対してアンケート調査を実施しており、その結果は概ね良好である。このことは、本校卒業（修了）生が社会で十分活躍していることを示しており、教育の成果や効果が十分上がっていると判断できる。

（2）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

準学士課程、専攻科課程ともに、卒業・修了時の達成状況は、それぞれ卒業認定会議及び修了認定会議により把握・評価している。また、学生の資質向上を目指し、学会や各種コンペティションにも積極的に参加しており、優秀な成績を収めている。さらに、卒業（修了）後は多くの学生が「ものづくり」に関する産業に従事しており、これらの産業で活躍できる技術者の養成が、本校の養成しようとする人材像に合致している。

準学士課程卒業予定者及び専攻科課程修了予定者に行った達成度アンケートの結果から、特に、専攻科課程修了時には、学校が意図する教育の成果や効果が十分に得られている。また、既卒業（修了）生及び採用実績のある企業に対してもアンケート調査を実施しており、その結果は概ね良好である。

（改善を要する点）

該当なし

（3）基準6の自己評価の概要

準学士課程、専攻科課程ともに、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力、資質・能力及び養成する人材像等について明示している。その達成状況は、卒業認定会議及び修了認定会議により把握・評価しており、適切な取組を行っている。卒業（修了）時の状況としては、卒業研究や特別研究の成果を校内外に公開することにより、その内容や水準を高めている。また、学生の資質向上を目指し、学会や各種コンペティションにも積極的に参加しており、優秀な成績を収めている。さらに、卒業（修了）後は多くの学生が「ものづくり」に関する産業に従事しており、これらの産業で活躍できる技術者の養成が、本校の養成しようとする人材像に合致している。

準学士課程卒業予定者及び専攻科課程修了予定者に行った達成度アンケートの結果から、特に、専攻科課程修了時には、学校が意図する教育の成果や効果が十分に得られている。また、既卒業（修了）生及び採用実績のある企業に対してもアンケート調査を実施しており、その結果は概ね良好である。このことは、本校卒業（修了）生が社会で十分活躍していることを示している。

以上のことから、教育の成果や効果が上がっているといえる。